



愛敬重之

後援会だより

2011年10月14日
第30期 後援会24号
発行責任者：愛敬重之後援会
会長 若杉 俊之

水害対策のため池の管理徹底を市に要求

愛敬 重之の活動報告

今回第3回市議会定例会では一般質問を実施させていただきました。



【一般質問内容】

(1) 桑名リバーサイドマラソンの開催日が、3月11日(日)に開催される30,000人規模の名古屋ウィメンズマラソン・名古屋シティーマラソン後の20日(祝)に変更になったこと、中学生・高校生育成の為に5kmはなぜ無くなったのかを質問しました。

(教育長答弁) 本年度で第8回を迎える(旧長島町から通算すれば20回)大会。実行委員会としても、今後桑名市体育協会や桑名陸上競技協会と協議し、中学生・高校生などより多くの市民ランナーが参加しやすい大会となるよう検討を重ねる。

(2) この所の地震・ゲリラ豪雨で海洋津波ではなく、「ため池・調整池」も津波類となると思います。ため池の保全整備と調整池の維持管理について質問いたしました。

(経済環境部長答弁・上下水道管理者答弁) ため池については、桑名地区に27箇所・多度地区に13箇所あり、点検については、マニュアル化したものはなく、ため池点検チェックリストを作成し管理します。調整池については、現段階の点検方法を流用していく。(ため池については、久々の達成感がありました！)

【経済産業部の方にため池の地図をもらいましたので、現地に行きます。】

(3) 公用車の事故件数の減少策について、桑名市はどのような対策を打っているのか質問しました。

(総務部長答弁) 新人職員研修の中でも交通安全研修は実施しており、一般職員に向けても定期的に研修を行っており、事故を起こした職員限定の研修は行っていない。

(愛敬まとめ) 物を大切にするとする事があまり周知されていないので周知くださいと市長公室長に伝えまとめました。

【9月26日・27日 教育経済委員会開催】

今回の質問は、平成20年度にも補正予算であがっていた多度アイリスパーク野球場放送設備修繕費が、また補正予算で今回あがっていたので3点について質問させていただきました。

質問) 7月25日の大雨の被害に関し、現地を見学に行きました。実際どのような方法により浸水で設備が壊れないようにするのか。事務所設置について設計上の問題はなかったのか。事務所が浸水した際、水中ポンプのような物が常備されていなかったようですがどのように水を排水するのか。

(多度生涯学習課答弁) 平成11年から12年頃の基本設計時、50年に1回の確率ということで、時間雨量85ミリあまりの設定した施設。ところが、今回の雨量は時間当たり95ミリぐらい降ったと聞いている。今後アンポンなど絶対に水に浸からないように、8台を4台ずつ左右にわけて天井付けしたいと考えている。設計当時の県の開発指導要領に基づくものであり、設計上の問題については無い。排水ポンプについては考えていない。

浸水した事務所の写真です



平成 20 年の浸水ラインです。



今回の豪雨時の浸水ラインです。



救護用のマットも浸水被害です。



←側は新たに原因と分かった配管ここから逆流して事務所へ。



グラウンド右には調整池です。グラウンドは第2調整池です。右の調整池がオーバーフローすると道の一番低い所からグラウンドに水が……。赤い矢印部分が低いです。

【10月2日：日産大商談会（日勢会）スタッフとして参加】

三重県内の日産自動車(株)に協力する企業が加盟する日勢会のお手伝いを実施しました。自動車メーカーも同様に、3月11日に発生をしました東日本大震災の影響と円高で苦戦をしている状況ですが、10月より挽回ムードでした。制約台数 88 台目標ところ、99 台と目標を大きく上回りました。



日本の企業が少しでも、元気になるよう微力ながら協力させていただいております。

【10月4日：くわないいきき体操に参加】

くわないいきき体操に参加し、この体操の良さを理解しました。市民の皆さんに一人でも多く参加してもらえるようにPR活動に協力してまいります。今回は、10月9日に開催されます桑名市民グラウンドゴルフ大会の準備運動で使ってもらえるように調整いたしました。

